



田無神社

第36号

水無月

発行所
田無神社社務所

〒188-0011
東京都西東京市田無町3-7-4
TEL 042-461-4442

編集発行人
賀陽智之

令和5年夏越大祓式

「どなた様でも
ご参列頂けます」

「茅の輪の設置」

田無神社では、例年「水無月大祓」の神事を6月30日に斎行しております。この「水無月大祓」は、私たちが日常生活で知らず知らずのうちにおかした罪穢れや禍を1年の半分にあたる6月30日に形代(人形)に移して祓い除き、身も心も清々しく健康で幸せな生活を願う日本の伝統的なお祓いの神事です。令和5年6月30日(金)「午前11時」・「午後3時」より斎行される祭典では新型コロナウィルスの終息と感染防止を祈願します。

日時 令和5年6月30日(金)
「午前11時」・「午後3時」 斎行

※今年、大勢の方のご参列が予想されることから2回斎行することといたしました。午前11時・午後3時の祭儀は同じ内容です。ご都合のよろしい時間にご参列ください。

例年通り、本殿前の参道に、6月30日(金)まで茅の輪を設置いたします。茅の輪をくぐり、身体健全・疫病退散を祈願ください。なお、茅の輪をくぐる際には、参拝者同士の間隔を1メートル程度あけてくださるようお願い申し上げます。

※茅の輪設置期間 6月10日(土)～6月30日(金)



令和4年 茅の輪くぐりの様子

「形代(人形)の配布」

形代(人形)に氏名(ふりがな)・生年月日をご記入のうえ、ご

自分の身体を撫で清め、息を3度ふきかけます。形代(人形)入れの袋にご住所お名前をご記入のうえ、社務所までお持ちください。形代(人形)は、6月30日(金)の大祓式祭典で浄火にてお焚き上げします。形代(人形)は社務所にて6月1日(木)より無料で頒布しております。

コロナ禍への念のための対策として令和5年に限り、形代(人形)は郵送でもお受けします。



形代(人形)



令和4年大祓鎮火祭

「尉殿考」第一回

シリーズ

田無神社 宮司
賀陽智之

御遷座三五〇年記念誌「写真と資料」から見る田無神社」の第1章

「由緒」の項で尉殿についての様々な説・解釈を紹介し、垂迹神である俱利伽羅不動明王は雨を降らす水の守護神であり、シナツヒコノミコト・シナトベノミコトは風雨の順調と五穀豊穰を司る神であり、尉殿は水の神であると纏めました。紙幅の都合上、掲載できなかった説・解釈を、田無神社社報で番号に渡り「尉殿考」として紹介していきます。

第1回目は「武蔵府中物語」から尉殿についての記述を紹介いたします。上巻と下巻で構成された「武蔵府中物語」は、昭和38年に武蔵総社大國魂神社から刊行されました。府中の歴史を中心に当時の大國魂神社宮司猿渡盛厚氏が纏められた郷土史です。「武蔵府中物語」の下巻の第15編の5「尉殿神社と郷蔵」に尉殿についての記述があります。その抜粋を以下に引用いたします。尉殿を物産を収納して

おく「倉」であると解釈している点で、田無神社第4代宮司の考えに近いと言えるでしょう。

尉殿神社と郷蔵

ある地方では、窮民救済の目的で出来た郷蔵を、社倉又は義倉と呼んで居る。この社倉の社は、元は神社の社から起こったものである。社は古字では社とも書いて、地神のことをいうので、いはゆる社稷の社である。中国古代の制度では、二十五家集った部落を一社と称し、其の社内に社壇を築き、樹木を植えて、社神を祀り、五穀豊穰を祈つたのである。

是れ即ち、その部落を社といった起源である。故に社とは、我国では郷とか、村というのと同意味であるから類推して、社倉、社会などという熟語も起こったものと思う。以上は単に社倉の社と、神社の社字の起源は、同じであるとの説明に過ぎないが、まれには、神社を中にして、初穂会を設けその幾分を貯蓄して出来た社倉があることも注意を要することである。なお別に、郷蔵中には、倉庫の守護神として、建てられた神社がある。それは古くは、国司時代には、国府内に印鑰神社、又は錠前神社があり、降っては、鎌倉頃から、

徳川時代までと思うが、錠殿神社、尉殿神社、及び尉殿神社がある。ついで以上の中、錠殿、錠殿、尉殿について記述してみようと思う。

我が北多摩郡内にも、尉殿と称した神社が三社ある。一は、田無町田無の今の田無神社、次は、大和町高木の今の高木神社で、旧称は共に尉殿権現と称して居たが、明治になって、今の社号に改称されたのである。次は、保谷町上保谷の、今の尉殿神社であるが、これは現に尉殿神社といつて居る。

元来、尉殿の尉の字は、別にも書き方が錠殿、浄殿などあるが、頗る異例の社号であつて、意義更に不明である。一寸考へると、高砂の尉姥でも祀つたかのように思はれるが、祭神としてはそれもおかしい。よつて私も、年来疑問のまま今日までに及んだ次第であるが、只高木の尉殿神社は、今は高皇産霊神となつて居るが、これは高木神社となつてから定めたので、古来からの伝承ではない。或は御戸開神といつたが、或はこれが正しいかも知れない。(中略)よつて思うに、以上の遺蹟は、王朝時代からの、郡倉か、郷倉か、或は降つて徳川時代の郷倉のあつた所ではあるまいか。即ち「じょうど

の」は、錠を預かつた家で、「内蔵助台は倉庫を管理して居た。役人の住んで居た遺蹟であろうと思はれるのである。されば、其処に錠殿、錠殿神社があるのは、錠と鍵なるものは、倉庫にとつては、最も重要なものであるから、それを守護する神霊を鎮祭したのである。なお、思ふにこの石祠の二社は、文化元年に出来たとすれば、それ以前からあつたものを改造さ

写真と資料から見る

田無神社

～写真800点、資料203点掲載～
御遷座三五〇年大祭記念誌

神社の歴史を鮮やかな写真と貴重な資料で辿る
令和2年10月11日御遷座三五〇年大祭が密行され、田無神社は大きな節目を迎えました。鎌倉時代の創建から今日まで人々の祈りを聞いてきた歴史について、神社に残された記録、氏子・崇敬者の方々や研究者の皆様よりお寄せいただいた膨大な資料を宮司が分析し、考察を加えて取りまとめました。初めて公表される貴重な写真や資料が盛りだくさんに掲載されています。神社とともに生きる人々の営みを後世に伝える永久保存版の一冊です。



令和4年12月末発売
全300ページ
フルカラー A4 判並製カバ
ー
販売場所 田無神社事務所
定価 3,000円



下田本家石挽臼(昭和30年代)

参集殿中庭にある石挽臼は昭和40年に下田家の大水車小屋を解体する際に神社に奉納されました。現在は井戸水が流れこむ鉢の役割をしています。かつては水車の挽臼でした。下田家の水車は「ホシケの水車」と呼ばれ、文化5年に精白、製粉の水車として設置されま

境内石造物紹介

下田本家石挽臼

れたもので、元の社殿は、もっと大きかったのが、小さい石祠に改造したものと考へられる。それ以前は、社殿内に或は倉庫の錠と鍵を保管して置いたとも察せされないこともない。
※「武蔵府中物語」下巻第15編P588～P590引用



農地改革記念碑

した。田無用水に設置された旧下田家の大水車小屋の歴史的価値については周知のことですが、この石挽臼はその殆ど唯一の遺物です。
農地改革は、地主制の解体を目的として第二次大戦後にGHQの指令で行われました。これにより、地主のもとで小作料をおさめながら農業をしていた人々が、自分で土地を持ち、農業を営むことができるようになりました。表面にはさらに、田無町農地委員会メンバーの名が、裏面には東京都多摩郡田無町農地改革協賛会メンバーの名が刻まれています。この碑文は、田無町の農地改革の特徴を今日ま

農地改革記念碑



鳥居建立(昭和45年)

で伝えている数少ない記録の一つです。
北参道の鳥居は、氏子らの奉納により昭和45年に建立されました。この鳥居は一の鳥居と共に、平成23年に発生した東日本大震災の揺れに耐えましたが、これはクレーン車が見られますが、これはクレーン車が直撃し損壊したこの名残です。
北参道の鳥居は、氏子らの奉納により昭和45年に建立されました。この鳥居は一の鳥居と共に、平成23年に発生した東日本大震災の揺れに耐えましたが、これはクレーン車が見られますが、これはクレーン車が直撃し損壊したこの名残です。

北参道の鳥居



楠木正成公像

設置年代は不明ですが、劣化の状態からかなり古い時代からあったことが推測されます。楠木正成公は南北朝時代に後醍醐天皇の命に依りて兵を挙げ、室町幕府の大軍と戦い、戦の神として崇められてきました。石造の一部が欠けており、補修されているのは、楠木正成公の武功にあやかうと、出征する若者が像の一部を砕いてお守りとし、戦場に臨んだからです。口伝ではありますが、楠木正成公の子孫は、その後保谷に移り住み、上保谷の尉殿神社を守護したと伝わります。現在は、拝殿向かって右、大鵬土俵東側に鎮座しています。

楠木正成公像

田無神社農園

令和5年3月に「カブ」、「チンゲンサイ」、「水菜」、「カラシナ」を収穫しました。3月1日に斎行された月次祭、3月11日(土) 斎行の震災復興祈願祭で、ご神前にお供えしました。また、下田農園の下田将人さんに指導を仰ぎ、5月に「トウモロコシ」の種を撒き、「カボチャ」の苗を植えました。田無神社農園では、お祭り・祭典でお供えする野菜・果物を栽培していきます。農園での野菜・果物の栽培の状況等については、田無神社公式HP・SNSを通して紹介してまいります。



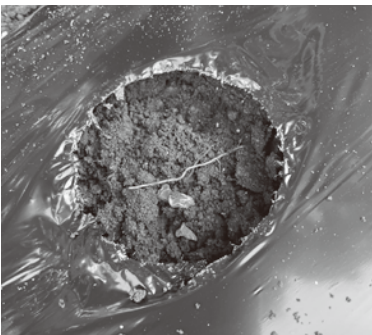
カブの収穫



チンゲンサイの収穫



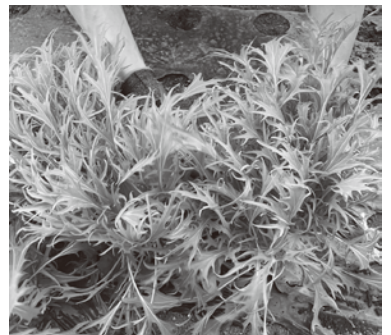
カラシナの収穫



トウモロコシの種



カボチャの苗



水菜の収穫

注意 参拝にあたって

1. 神道の信仰について

田無神社は龍神（級津彦命・級戸辺命）をご祭神としていることから、スピリチュアルなスポットとして紹介されることが多く、神道の信仰を超えた、神秘的な思想をお持ちの方々が、神社神道と異なる様々な解釈をされているようです。田無神社は神社神道の信仰・価値観に基づいて祭儀を行っておりますので、以下の例のような信仰、価値観等については解りません。

(例).....

- ・ 神社の信仰に属性や相性があるという考え
- ・ 神様が参拝者に降臨する、憑依するという考え
- ・ 特殊な参拝方法を行うとご利益があるという考え
- ・ 龍が人につくという考え
- ・ 除霊や除霊(口寄せ)、霊媒、浄化、ヒーリング行為等を境内で行うことはご遠慮ください。

2. 代参について

近年、神社・仏閣への代理参拝や参拝ツアーが流行しているよう

です。代理参拝や参拝ツアーを主催する団体の中には、高額の料金を参加者に要求することがあるそうです。田無神社は、代理参拝や参拝ツアーには一切関与していませんし、推奨もしていません。神社への「代理参拝」という慣習は「神社講」として古い時代からありましたが、信仰上の尊厳を損なうことのないよう慎重に検討する必要があります。

3. 授与品の取扱いについて

神社で頒布しているお札やお守り（授与品）には大神様のご神威が籠っておりますので、信仰上の尊厳を損なわないよう慎重に取り扱う必要があります。多くの神社の包括団体であります神社本庁より各神社に「神符守札の御取扱ひに関する件」（昭和54年11月27日通達第4号）という通達が发出されており、その中ではお札やお守りは社頭で参拝者に個々に授与することとされており、さらに頒布方法により一般の商品と同じにみなされることのないよう、また神社以外の第三者が頒布することで商業目的に利用されることがない

よう留意すべき旨が定められています。神社でお祓いやご祈禱を受けた物品・作品等を「神社お祓い済み」・「神社祈願済み」などとして販売することも厳に慎むべきものと考えられています。さらに、転売サイト、フリマアプリ、個人サイト等で田無神社のお札やお守りやその加工品を販売していることがありますが、これらについて田無神社ではまったく関与しておりませんので、購入される際には十分にご注意ください。田無神社ではお札やお守りの尊厳を大切に守り続けてまいります。

4. 境内での商業行為について

他の神社、仏閣では、神社の許可を得ずに境内を利用して、ブレスレット、宝石、書籍等の物品を販売したり、占い、人生相談、運命鑑定、除霊、浄化、ヒーリング、交信等により対価を得る商業行為が行われている例があるようです。このような行為について、田無神社が許可を与えることはありませんので、ご注意ください。今後、田無神社境内でそのような行為を発見した場合には境内から退去していただきますので、ご承知おきください。

5. 作品等の奉納について

絵画やアート作品の奉納の申し出が多数あります。しかし、奉納された方の中には、田無神社に奉納したことを誹り、作品を宣伝し、販売される方が見受けられます。奉納はご祭神へのお供えであり、感謝の気持ちが大切です。作者・作品と、田無神社は一切関係・繋がりはありませんし、作品の販売にも関与しておりません。どなたにも誤解を与えることのないよう、今後田無神社では全ての絵画やアート作品のご奉納をお断りすることにいたしました。

6. お焚き上げについて

神社で頒布したお札やお守り・縁起物、正月飾り、門松等はお焚き上げをすることができますが、その範囲は限定的に考えるべきものです。故人の遺品や写真など処分に困る物品があることは理解できますが、お焚き上げを行うことはできません。また、寺院で頒布したお札・お守りやダルマ等については、お焚き上げできません。お焚き上げに際しては、焼却に適さないガラス、金属、プラスチック等はできる限り取り外してお持ちください。



お人形

感謝祭

令和5年8月6日(日) 14:00 齋行

小雨齋行※荒天時は8月13日(日)へ順延予定

お預かりしたお人形を陳列し、感謝の気持ちを込めて祝詞を奏上しお祓いします。



当日受付 9:00～13:45まで 本殿向かって右手の授与所

事前受付 7/29(土)～8/5(土)9:00～17:00まで 朱色の授与所

どなた様でもご参列いただけます。

お預かり可能なお人形例

ひな人形・五月人形・こけし・羽子板・ぬいぐるみ等のお人形

お人形以外のもの(お人形が入っていたガラスケース等)はお預かりできません。

一箱(70cm×45cm×45cmの箱)に収まる量につき5000円の初穂料をお納め頂きます。

箱に入り切らない場合は別途3000円を納めて頂きます。



田無神社

1年に1回のお人形感謝祭

～お人形・ぬいぐるみに感謝の気持ちを込めて～

お人形でお困りのことはありませんか？

日本では、古来よりお子様の成長を祈り、3月にはおひな様、5月にはよろい・かぶとや五月人形を飾ってきました。

最近では、お子様が大きくなり、また、住宅事情等により、以前のようにお飾りすることが難しくなったとのお声を聞くことがあります。

愛着はあるけれど古くなってしまったぬいぐるみをお持ちの方もいます。

お人形への愛着や、お顔のある人形には魂が宿るといふ古くからの考え方によって、そのままゴミとして処分することに抵抗を感じている方が多くいらっしゃいます。

そこで、田無神社ではお預かりしたお人形を並べ、祝詞を奏上してお人形に感謝の気持ちを捧げる「お人形感謝祭」を年1回8月の第1日曜日に斉行しています。

お預かりしたお人形は「お人形感謝祭」の斉行後、神社で責任を持ってお焚き上げ等適宜の方法により処分いたします。

【斎行日時】 令和5年8月6日(日) 14:00～

当日はどなた様でもご参列いただけます。どうぞお人形をお持ちになりご参列ください。

【受付期間】 ※これ以外の期間はお人形をお預かりできません。

当日 令和5年 8/6(日)

受付時間：
午前9時～午後1時45分頃まで

事前 7/29(土)～8/5(土)

事前受付時間：
午前9時～午後5時まで(各日)

※郵送でのお受付はできません。直接神社にお持ちください。



お預かりできるお人形の例

●ひな人形 ●五月人形 ●こけし ●羽子板 ●ぬいぐるみ ●かぶと ●よろい人形など
《お願い》台座など取り外せるものはできるだけ取り外してお人形のみをお持ちください。



お預かりできないお人形の例

×ダルマ ×仏像 ×段飾りの段 ×ガラスケース ×その他付属品など
×お人形以外のもの(かぶと・よろい人形以外の目のないもの)はお預かりできません。



【初穂料】 一箱(70cm×45cm×45cmの箱に収まる量)につき5000円

- 量を測るダンボール箱は神社で用意しています。
- お人形を神社にお持ちになる際に箱は必要ありません。
- このサイズからあふれる場合、追加の初穂料3000円をお納めいただけます。

神社からのお知らせ

七夕てるてるトンネル

6月17日(土)～7月10日(月)までの期間、「七夕てるてるトンネル」を田無神社境内に設置します。「てるてる短冊」に顔を描き、皆様をお願いごとをご記入ください。



七夕てるてるトンネル

御田植祭齋行

6月11日(日)午後1時より龍神池において「御田植祭」が齋行されます。龍神池に稲を植え、農作業の手順を演じ、豊穣をお祈りするお祭りです。秋に収穫された龍神池の稲は10月の例祭の大祭で神様に御奉納します。



令和4年御田植祭

初穂祭齋行

8月23日(水)に氏子総代参列の下、午後2時より天神社において初穂祭が齋行されます。初穂とは、秋の稲の収穫に先立って神に献じる熟した稲穂のことで、初穂祭は田んぼの神様に感謝し、豊作をお祝いする祭禮です。

津島神社祭礼

7月9日(日)に柳沢津島神社の天王祭を齋行し、神輿が出御します。柳沢ガード下付近で12時30分頃に出御し、午後1時頃に田無神社境内に到着します。その後、午後1時15分頃に田無神社境内にある津嶋神社前において本社天王祭を齋行します。田無神社境内では、田無5区・6区の向台大太鼓が神輿を先導し参道を清めます。その後、柳沢の町を神輿が練り歩き、午後5時頃、柳沢ガード下付近で還行します。祭礼の中止や延期等の場合には、田無神社公式HPでお知らせいたしますのでご確認ください。



令和元年津島神社神輿渡御

耐殿天王祭齋行

悪疫よけの神である牛頭天王(すてんのう)の夏のお祭りです。耐殿神社において6月15日(木)午後1時より齋行されます。牛頭天王は疫病除の力を有する御神格があります。夏の暑い時期には、疫病など多くの病気が流行しやすいので、これを防ぐ神・追い払う神として人々から広く信仰されています。

三社祭齋行

6月17日(土)午前10時より、三社祭を齋行いたします。三社祭は塩竈神社、煩大人神社、大鵬土俵(国常立命)の三社のお祭りです。土俵の前に祭壇を作り、神職が三社の神様にご奉仕いたします。

戦没者慰霊祭

8月15日(火)に日露戦争戦役記念碑前において慰霊祭が齋行されます。一般参列者の参加のもとに、英霊に追悼の誠を捧げ、感謝を奉告します。

日露戦役記念碑とは

日露戦争での戦勝を記念し、明治40年(1907)に教育者である刑部真琴によって建立されました。文字は日露戦争の際に元帥陸

軍大将として満州軍総司令官を務めた大山巖による揮毫です。日露戦争では田無村から71人が出征し、3人が戦死、68人が凱旋帰国しました。71人の出征者のうち、70人が陸軍、1人だけが海軍です。この碑の裏には出征者の氏名が、田無小学校の初代校長・刑部真琴の発案によって彫られ、その消息を今日に伝えていきます。刑部真琴は阿波洲神社拝殿に掲げられている凱旋記念扁額にも保谷出身従軍軍人の名を刻んでいます。

大山巖は元帥陸軍大将で元老、貴族院議員を歴任しました。西郷隆盛、西郷従道は従兄弟にあたります。日清戦争においては陸軍大将として第2軍司令官となりました。日露戦争においては元帥陸軍大将として満州軍総司令官となり、大いに日本の勝利に貢献しました。同じ鹿児島出身の東郷平八郎とあわせて「陸の大山・海の東郷」と並び評されています。

開かれた神社

献血会実施

新型コロナウイルスの感染拡大で献血イベントの中止が相次ぎ、首都圏を中心に医療機関への血液

供給、輸血用の血液の在庫が逼迫しています。5月3日(水)に国登録有形文化財である田無神社参集殿において、献血会を実施しました。63名のお申し込みがありました。心から感謝申しあげます。これからも、輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、献血にご協力をお願いします。

バケツ稲作り

農業協同組合(JAグループ)よりいただいた、「バケツ稲作りセット」を4月29日(土)より先着順で500体配布しました。このセットは種籾と肥料、栽培マニュアル、お名前シールがセットになっています。収穫された稲は例大祭期間に田無神社にお持ちいただき御奉納ください。例大祭当日にお神輿にくくりつけお供えいたします。

例大祭期間 10月1日(日)～10月13日(金)
例大祭当日 10月14日(土)・10月15日(日)

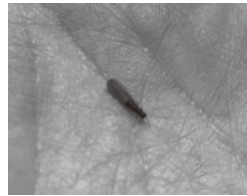
参集殿中庭工事

参集殿中庭の改修工事を行なっています。石灯籠などを再配置しながら、景観的にも優れた風格ある中庭を目指しております。また、

参拝者用お手洗いにつながる排水管の取り替え工事を行いました。

シロアリ、ネズミ、ハクビシンの駆除

以前から参集殿、社務所はシロアリ、ネズミ、ハクビシンの被害に遭っています。本年度中に、天井板、床板を外して調査し、大規模な駆除作業を行っていきます。



ヤマトシロアリの成虫

擬宝珠修繕工事

社殿廻縁の高欄の柱上に設けられている擬宝珠の修繕工事を行っています。擬宝珠は折れやすい形状をしていますので、触れないようにお願いします。



擬宝珠とヤモリ

龍神池

モツゴの産卵期は4月～8月です。メスが石の表面に卵を産みつ

け、孵化するまではオスが外的から卵を守ります。モツゴは別名「クチボソ」と呼ばれ、関東地方では佃煮や唐揚げにされるなど、短距離魚として親しまれてきました。夏の龍神池をぜひ覗いてみてください。

ご神木土壌改良工事

4月上旬にイチヨウのご神木のX線CTスキャン検査を行いました。診断結果は異常無しでした。イチヨウの葉付きをさらによくするためにご神木周辺の土壌改良工事を実施する予定です。また、夏頃にご神木5本に「竹幹」を括りつける予定です。

イチヨウのご神木の幹の保護のため、参拝者の皆さんにはご神木への直接の接触をご遠慮いただくことといたしました。竹幹の上から間接的にご神木をお触れになりご神気をいただくこととなりますが、ご神木の保護にご理解くださいますようお願い申し上げます。

参集殿銅板張替工事

昨年にミツバチが参集殿の屋根裏に巣を作ったため、除去作業、屋根の銅板張り替え工事を行いました。広範囲に渡り、銅板を剥がす必要があります、大規模な工事と

なりましたが、4月中旬に完工しました。

器物損壊並びに窃盗事件発生について

発生日：令和5年4月12日(水) 午前3時30分頃

被害状況：①本殿前賽銭箱のシリンドンダ錠の掛け金部分を切断し、賽銭が盗取されました。

②摂津島神社の賽銭箱のシリンドンダ錠の掛け金部分を切断し、賽銭箱内の引出しごと賽銭を盗取されました。

通 報：被害発生現認後、午前7時50分頃に所轄警察署に通報しました。

田無神社は夜間でも安心してご参拝いただける開かれた神社であるので、防犯対策には特に力を注いでおります。録画機能搭載の超高性能防犯カメラ、人感サーチライト、防犯ブザー、自動警報システムなどの設置の他、不定時の夜間見回りを行っています。今後も、夜間においても皆様方に安心してご参りいただける環境づくりにいっそう取り組んでまいります。境内で不審者や不審物を見つけた場合、ご自身の安全を確保されたうえで社務所までご連絡ください。

境内四季



鳥居と巫女



コロナ禍の巫女舞



柳沢津島天王祭



震災復興祈願祭(いわき市)



コロナ禍の神輿曳き



2月10日 雪が降りました



例大祭神輿供奉



和室と洗濯